

大阪大学工学部・工学研究科 溶生会総会報告

大阪大学工学部・工学研究科溶生会も会員総数が 3,500 名近くとなり、去る平成 23 年 10 月 22 日(土)に 5 年ぶりの同窓会総会が千里阪急ホテルにおいて開催され、120 名を越える同窓生が出席した。本学科の同窓生諸氏には多方面で大きく活躍され、また、次世代を担うべき多くの若手技術者・研究者を次々と輩出している。

今回の同窓会総会は、「溶生会」本部役員、同窓会会則の改定、学年幹事、同窓会名簿の CD-ROM による発刊の件が別紙議事録のとおり、承認された。また、今年度の生産科学コースコース長の望月正人先生より大学の現状、特に独立行政法人化後の大学の改革と生産科学コースの展開などについて紹介があった。

総会に引き続き、福永伸哉大阪大学文学研究科教授の特別講演

「古代青銅器の製作・流通から見た邪馬台国論争のゆくえ」

が行われた。

総会、特別講演会に引き続いて、懇親会（パーティ）が同ホテル会場において開催され、日納義郎新会長の挨拶につづいて、掛下知行工学研究科長の挨拶の後、中西保正副会長の乾杯の音頭によって懇親のパーティに入った。同窓生各位には、久しぶりの逢瀬を懐かしみ、互いの消息、あるいは学生時代の思い出を懐かしむなど、思い思いにあっという間に過ぎ去った 2 時間あまりのひとときを過ごした。

追記

総会報告および記念写真を「溶生会」ホームページに掲載しております。

<http://www.mapse.eng.osaka-u.ac.jp/yo/>